

公安委員会	令和5年秋の全国交通安全運動	令和5年9月14日
説明資料No. 1	の実施について	交通局

1 実施期間

9月21日(木)から同月30日(土)までの10日間

2 主催

内閣府・警察庁等10府省庁、都道府県、市区町村、関係13団体

3 運動重点

- こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
- 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

4 運動重点に関連する交通事故の特徴等

- (1) 「こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保」関係
 - 年末にかけて歩行中死者数・構成率ともに増加
 - 日の入り後1時間は、自動車対横断中歩行者の死亡事故が増加
 - ・ 10月～12月は7月～9月と比較して2.2倍増加
 - ・ 高齢者が死亡する事故が9割以上を占める
 - 日の入り後1時間は、自転車対歩行者の死亡・重傷事故が増加
 - ・ 10月～12月は7月～9月と比較して2.8倍増加
 - ・ 高齢者が死亡する事故が7割以上を占める
- (2) 「夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶」関係
 - 10月～12月は7月～9月と比較して交通死亡事故が増加し、特に夕暮れ時と夜間はそれぞれ1.8倍増加
 - 飲酒死亡・重傷事故は近年減少傾向であるも、令和5年7月末時点では対前年比で増加
 - 飲酒死亡・重傷事故は年末にかけて増加傾向
 - ・ 特に「飲食」目的の事故が増加
- (3) 「自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底」関係
 - 令和5年7月の一斉調査結果では、自転車乗車用ヘルメットの着用率は13.5%と、前回調査時に比べ9.5ポイント上昇
 - ・ 「駐輪場が整備された駅周辺」の方が「商店街又はいわゆるショッピングセンターなどの周辺」に比べて大きく上昇

5 警察における重点的取組

- 反射材等の視認効果や使用方法等について周知するなど、歩行者の安全確保に向けた取組を強化
- 早めのライト点灯やハイビームの活用等に関する広報啓発を推進するとともに、地域・職域における飲酒運転根絶への取組を強化
- 自転車を対象とした一斉指導取締りの実施と自転車の安全利用を促進するための広報啓発の推進